

I 集計結果のまとめ

1月に実施した第2回学校評価の結果を公表します。回答数は、在籍327名中、生徒295名(90.2%)、保護者288名(88.0%)、教職員43名(100%)でした。

以下の数値(%)は、設問に対して「わからない・無回答」を除いて「(やや)あてはまる(=達成率)」と答えた割合を表します。2023年度の全体(第2回)の平均達成率は82.4%であり、内訳は生徒72.9%、保護者77.0%、教職員93.7%でした。

なお、学習指導要領の改訂、本校の事業計画等を参考に、質問事項については加筆・修正を加えています。(参考資料②参照)

高評価：90%以上、要精査：60~69%、要改善：60%未満

■ 生徒	
90%以上 → 1 項目、80~89% → 0 項目、70~79% → 21 項目	
60~69% → 8 項目、60%未満 → 0 項目	
■ 高評価：その他(進路満足度) 95.3%	
■ 要精査：私学の独自性(愛校心) 69.2%	設備施設(施設管理) 68.0%
生徒指導(組織的対応) 61.2%	授業(きめ細やかな指導) 61.6%
授業(探究活動) 67.0%	人権教育 69.7%
情報教育(情報モラル) 69.9%	その他(生徒会活動) 62.7%
■ 要改善：なし	

■ 保護者	
90%以上 → 1 項目、80~89% → 7 項目、70~79% → 17 項目	
60~69% → 6 項目、60%未満 → 0 項目	
■ 高評価：その他(進路満足度) 95.9%	
■ 要精査：私学の独自性(建学の精神) 65.5%	
生徒指導(基本的生活習慣) 68.7%	授業(質的向上) 65.4%
授業(きめ細やかな指導) 63.7%	授業(探究活動) 63.8%
SDGs と社会貢献 66.0%	
■ 要改善：なし	

■ 教職員	
90%以上 → 31 項目、80~89% → 7 項目、70~79% → 2 項目	
60~69% → 0 項目、60%未満 → 0 項目	
■ 要精査：なし	
■ 要改善：なし	

II 成果

・2022 年度より事業計画に示した「進路満足度 100%」の達成状況について、生徒 (95.3%) 及び保護者 (95.9%) の評価が前年をさらに上回り、2年連続で 90%以上となりました。

・2023 年度の第 1 回目（中間）と比較すると、生徒・保護者・教職員からの評価で「要改善」は皆無となりました。また、2022 年度の第 2 回目（年度末）と比較しても、生徒・保護者・教職員からの評価で「要改善」は皆無となりました。

・保護者のアンケートの回答率が 2021 年度の第 2 回目 (53.1%)、2022 年度の第 2 回目 (73.4%) でしたが、今回は 88.0%以上となり、3年連続で増加しました。

・「読書教育」については、朝読の質を見直し、「読む」習慣を再構築、ビブリオバトル、関西国際大学の図書館ツアー、電子図書館、読書講演会等を実施した結果、改善が見られました。

III. 課題と対策

・(全体を通して) 前年同様、生徒・保護者と教職員の評価に大きなギャップがあります。カリキュラム・マネジメントを推進する中、2024 年度はコース、学年、教科がより教科横断的取り組みを行うだけでなく、全教職員が現状を把握した上で、ワークショップ等を盛り込み、OJT (On the Job Training) を通じて資質向上をはかります。

・(要精査項目) 授業における「きめ細やかな指導」(生徒 61.6%、保護者 63.7%、教職員 97.6%) については、コースコンセプトに基づき、個別最適化された自己調整学習を定着させるために、タイムマネジメントシートの活用とリフレクシオンアワーを通じて、コース、学年、教科、担任と保護者が連携を密にして学習内容の定着をはかります。

・(要精査項目) 授業における「質的向上」(生徒 72.5%、保護者 65.4%、教職員 100%) については、定期・模試分析会、大学入学共通テスト勉強会に加え、年間 2 回、(公開) 研究授業を実施、授業満足度アンケートで授業改善を行います。

・(要精査項目) 授業における「探究活動」(生徒 67.0%、保護者 63.8%、教職員 95.3%) については 2023 年度新設した「探究教育推進委員会」を中心に内外での取り組みを強化していきます。「SDGs と社会貢献」(生徒 70.4%、保護者 66.0%、教職員 90.7%) については、探究学習の中でシラバス化して生徒個々の意欲・関心を高めていきます。

・(要精査項目)生徒指導における組織的対応(生徒 61.2%、保護者 75.9%、教職員 97.7%)、基本的な生活習慣(生徒 76.7%、保護者 68.7%、教職員 88.1%)については、生徒指導と学年の連携をさらに密にすることによってより初期指導を充実させます。「生徒会活動」(生徒 62.7%、保護者―、教職員 79.1%)については、年々、活発化していますが、さらに生徒の「主体的、対話的、深い」活動が展開されるよう指導していきます。「人権教育」(生徒 69.7%、保護者 77.0%、教職員 93.0%)については、人権委員会、学年、教科が協働してさらに取り組みを進めていきます。

・(要精査項目)私学の独自性における「建学の精神」(生徒 71.9%、保護者 65.5%、教職員 88.4%)、「愛校心」(生徒 69.2%、保護者 79.6%、教職員 93.0)については、100周年記念事業を契機に、学院のミッション及び建学の精神を様々な教育実践の中に落とし込んでいきます。「施設・設備」(生徒 68.0%、保護者 79.9%、教職員 81.0%)については、トイレなどの改修工事を行い、その充実を図っていきます。

【参考資料①】学年の大テーマと小テーマ

■ 中学(1年生～3年生)

中学の全体目標と学年目標		
大テーマ [全体]		
1 学期	「お蔭様で」という感謝の気持ちを忘れず、常に自分を律し、平凡なことをやり続ける姿勢を養う。	
2 学期	興味・関心の対象を見つけ、「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」を探究する姿勢を養うと同時に、自らの能力を最大限に伸ばす努力をする。	
3 学期	リアルな社会的問題の解決に向けて、必要とされる学びを深めながら本質を捉え、既成概念に捉われない着眼点を伸ばし、個別最適学習（アダプティブ・ラーニング）の基盤をつくる。	
小テーマ [学年]		
中 1	1 学期	生活リズムを整えることはもちろん、「すべきことはその日のうちに！」の習慣化。物事に対してやり遂げる中学校生活の確立化。 「あ・じ・み・そ」を習慣化させ、素直かつ能動的に取り組む姿勢の育成。
	2 学期	個々の個性を認め合いながら、何事にも能動的に全力で取り組む集団の育成。初めての行事への全力挑戦。（学園祭等）
	3 学期	年間の振り返りと次年度の PDCA
中 2	1 学期	物事や他者に対する思考力を養い、何事にも思いやりをもって判断し表現する能力の育成。 先輩としての自覚と立志の意識向上。
	2 学期	自立心の育成。 習得した知識や技能を活かして、主体的に取り組む態度・姿勢の育成。
	3 学期	年間の振り返りと次年度の PDCA
中 3	1 学期	習得した知識や技能を活かして、主体的に取り組む行動・考動の確立化。 最上級生としての自覚とリーダーシップの育成。
	2 学期	自分の将来を見据えて、高等学校のコース選択とその実現のための PDCA。最上級生としてのリーダーシップを発揮しての中学運営。
	3 学期	中学 3 ヶ年の振り返りと高 1 での PDCA

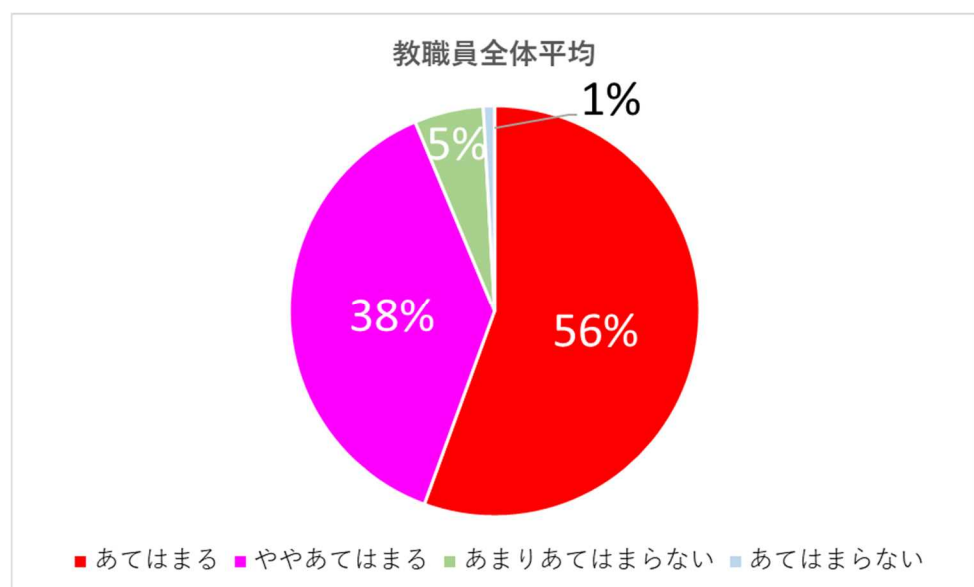
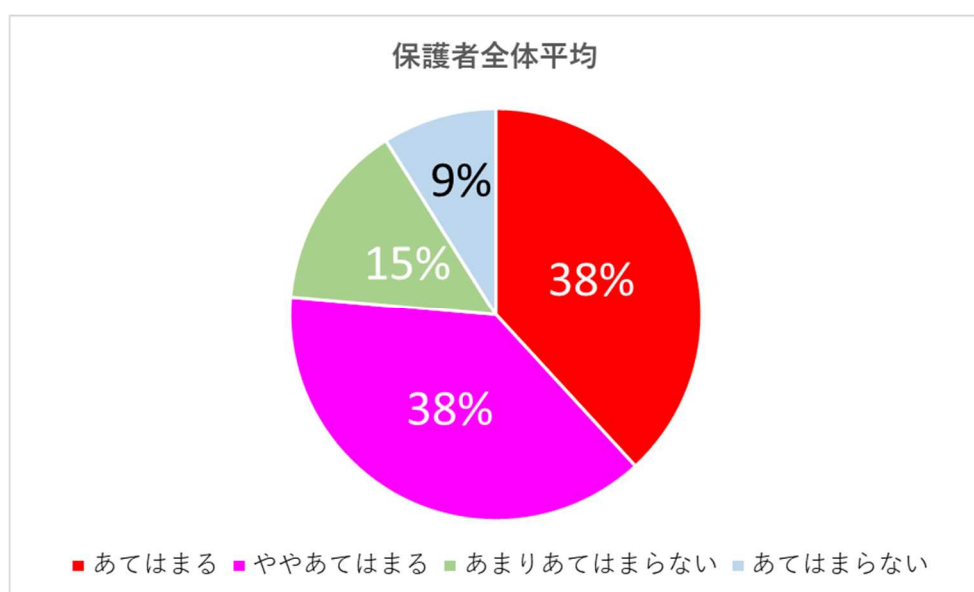
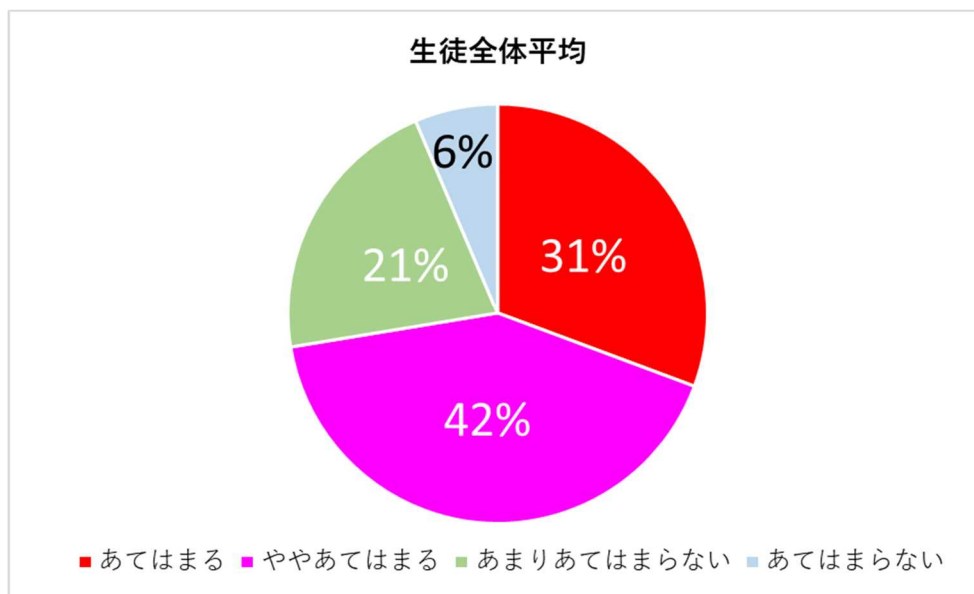
■高校

高校の全体目標と学年目標		
大テーマ [全体]		
1 学期	個別最適学習（アダプティブ・ラーニング）への習熟を通じて、得意分野を最大限に伸ばし、苦手分野を積み残さない取り組みを実践する。	
2 学期	“なりたい自分”になるための目標を明確にしつつ、学びのスタイルを確立し、思考力・判断力・表現力を伸ばす。同時に、物事の本質を見極め、正解は1つでないことに気づき、最適解を導くことによって豊かな人生を切り拓くたくましさを身につける。	
3 学期	自分の可能性を認識するとともに、他者を尊重し、協働しながら社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となると同時に、各自が夢の実現に向けて、高い志を持ち、教育ミッション、建学の精神を具現化する。	
小テーマ [学年]		
高 1	1 学期	①「あ・じ・み・そ」を意識した規則正しい生活習慣を身につける。 ②学習計画シートを活用し、自分にあった学習習慣を定着させ、学力向上を図る。 ③実生活における物事に興味関心を持ち、そこから課題を見つける。
	2 学期	①生活習慣・学習習慣を見直し、質の向上を目指す。 ②学習において、各自の課題を克服する方法を探究する姿勢を養う。 ③様々な行事に積極的に取り組み、協働する姿勢を身につける。
	3 学期	①将来の自分、なりたい自分のイメージを具体的にするための目標を定める。 ②1年間を振り返り、PDCAにより来年度の目標を見定める。
高 2	1 学期	①計画的な学習と明確な目標設定に基づく継続的な学習習慣を確立する。 ②自らの役割を自覚し、集団の中で責任ある行動を心がける。
	2 学期	①自ら行動し、新たな問題を発見・修正しつつ、進路実現に向けて邁進する。 ②行事を通じて他者を尊重し、協働しながら問題解決を模索する。
	3 学期	①自らの進路実現のために、PDCA サイクルを確立する。 ②最高学年に向けた自覚を養う。
高 3	1 学期	①学習計画シート・リフレクションシートを活用し、生活習慣・学習習慣の見直しを図る。 ②客観的に物事を判断しながら、進路実現に向けての軌道修正を行う。 ③校則の遵守・集団の中で責任ある言動を心がけ、他者と協働する。
	2 学期	①PDCA サイクルに基づいて、学習目標を設定し計画的に実行する。 ②個別最適な学びを通して、思考力・判断力・表現力の伸長を図る。 ③校則の遵守・集団の中で責任ある言動を心がけ、他者と協働する。
	3 学期	①目標達成に向けて「最後まで諦めない・挑戦し続ける」ことのできる集団となる。 ②学年全員で、進路満足度100%の実現に向けての環境作りに努める。

【参考資料②】 2023年度 学校評価アンケート質問内容

観点	項目	教職員への設問	生徒への設問	保護者への設問
私学の独自性	建学の精神	1 建学の精神と教育ミッションに基づいた教育目標と方針が、教職員・生徒・保護者によく浸透している。	建学の精神「自学自習・情操陶冶」、教育ミッション「Communication(対話・伝達)・Consideration(熟慮・考察・思いやり)・Commitment(参画・貢献)」を理解している。	建学の精神「自学自習・情操陶冶」、教育ミッション「Communication(対話・伝達)・Consideration(熟慮・考察・思いやり)・Commitment(参画・貢献)」に基づいた教育活動が行われている。
	愛校心	2 在校生・卒業生は「山手ファミリー」の一員として誇りと自覚を持っている。	神戸山手の生徒としての誇りと自覚を持ち、より良い学校づくりに貢献しようと思う。	子どもは神戸山手の一員としての誇りと自覚を持ち、保護者としてもより良い学校づくりに協力しようと思う。
教育課程	学習指導要領	3 教育課程は学習指導要領に沿って作成されている。		
	教育計画	4 年間を通じた教育計画(シラバス)に従って、各教科・科目の授業が展開されている。	シラバスに従って、各教科・科目の授業が展開されている。	年間を通じた教育計画(シラバス)に従って、各教科・科目の授業が展開されている。
開かれた学校	教育活動の公開	5 教育活動について、ホームページ・各種通信・BLEND・レポート・ミヤモルメ等で、可能な範囲の情報が公開されている。	ホームページ、学年だより・保健だよりなどの通信、BLEND等で、必要な情報が提供されている。	ホームページ、学年だより・保健だよりなどの通信、BLEND、ミヤモルメ等で、必要な情報が提供されている。
	財務関係	6 財務諸表等が公開されている。		
	授業公開	7 保護者などに対して、授業や行事が公開されている。		保護者に対して、授業や行事が公開されている。
	地域交流	8 地域の清掃やイベントへの参加活動を通して、地域住民との交流ができています。		
	外部講師の活用	9 外部講師による講演や企業との連携授業など、生徒が一般社会で活躍する人に触れて刺激を得る機会が作られている。	学校で、一般社会で活躍する人の講演を聞いたり、直接指導を受けたりする機会がある。	外部講師による講演や企業との連携授業など、生徒が一般社会で活躍する人に触れて刺激を得る機会が作られている。
連携	教員間連携	10 教員間の相互理解と信頼関係のもとに、教育活動が展開されている。		
	教職員連携	11 職員会議をはじめ、学年・分掌・教科の会議は、課題検討と有用な情報交換の場として機能している。		
	保護者・卒業生連携	12 教員と事務職員の相互理解と信頼関係のもとで、教育活動が展開されている。		
教員研修	校内研修	13 青友会・同窓会の活動が盛んで、本校の教育方針に対する保護者や卒業生の理解と協力が進んでいる。		青友会・同窓会活動が盛んで、本校の教育方針に対する保護者・卒業生の理解と協力が進んでいる。
	資質向上	14 校内研修会や効果的なOJT(On-the-job Training)が実施され、教職員の資質向上につながっている。		
危機管理	役割分担	15 研究授業、相互授業参観、模試・考査分析会、外部研修会への参加等によって、教員の資質向上が図られている。		
	役割分担	16 事故・災害等、非常事態に対処する際の役割分担が明確にされている。		
	講習・訓練	17 健康・安全についての講習、防災訓練等を通じて、生徒・教職員・保護者の防災・安全意識が高められている。	健康・安全についての講話、防災訓練、保健だより等を通じて、防災・安全意識が高まった。	健康・安全についての講話、防災訓練、保健だより等を通じて、防災・安全意識を喚起している。
	パンデミック対策	18 日常の感染予防対策を徹底しながら教育活動が行われ、必要に応じて遠隔による授業・行事が実施されている。	日常の感染防止対策を徹底しながら教育活動を実施し、必要に応じて遠隔での授業も取り入れている。	日常の感染防止対策を徹底しながら教育活動を実施し、必要に応じて遠隔での授業も取り入れている。
設備施設	個人情報	19 個人情報の管理について、十分な配慮がなされている。	個人情報の管理について、十分な配慮がなされている。	個人情報の管理について、十分な配慮がなされている。
	施設管理	20 施設管理について、日常的に点検・補修が行われ、常に適正に管理されている。	日常的に施設・設備の点検・補修が行われている。	日常的に施設・設備の点検・補修が行われている。
生徒指導	学校生活	21 生徒は学校生活を楽しくしている。	自分は学校生活を楽しくしている。	子どもは学校生活を楽しくしている。
	基本的な生活習慣	22 時間厳守・身だしなみ・挨拶・校則の遵守・整理整頓・清掃など、生徒の基本的な生活習慣の確立のための指導が行われている。	時間厳守、身だしなみ、挨拶、校則の遵守、整理整頓、清掃など、基本的な生活習慣が身についた。	子どもは、時間厳守・身だしなみ・挨拶・校則の遵守・整理整頓・清掃など、基本的な生活習慣が身についている。(身につけてきた。)
	面談	23 面談を通して個々の生徒に寄り添い、生徒と教員の信頼関係のもとに課題が共有され、問題があれば迅速に報告されている。	担任の先生との面談の機会がたくさんあり、自分のことをよく理解して的確なアドバイスをしてくれる。	担任は、個別面談などを通して子どものことをよく理解し、適切なアドバイスしてくれる。
	組織的対応	24 問題行動の防止に向け早期指導を行うとともに、生徒指導に組織的に対応する体制がある。	先生の指導が公平で適切であり、学校として統一されていると感じる。	指導が適切なタイミングとスピードで行われ、また学校として組織的になされていると感じる。
進路指導	意識の向上	25 生徒の適性に応じて個々の興味・関心を引き出し、個性と学年に応じた進路指導・キャリア教育が実施されている。	生徒の適性や目標に応じた進路指導をしてくれている。	生徒の適性に応じて個々の興味・関心を引き出し、個性や学年に応じた進路指導・キャリア教育が実施されている。
	情報の活用	26 生徒・保護者への説明会、外部講師による講演、大学との交流など、さまざまな進路行事を通して情報提供が行われている。	進路に関する行事をはじめ、ホームルームや学年集会、配付物や掲示物などを通して、適切な進路選択のための情報を十分に得ることができる。	進路に関する行事のほか、さまざまな方法で適切な進路選択のための情報を十分に得ることができる。
	個別指導	27 生徒の学習到達度を正確に把握し、模試・考査などの客観的分析とPDCAを行わせる進路指導が実施されている。	担任の先生や教科担当の先生は、自分の学習到達度を正確に把握し、的確なアドバイスをしてくれる。	担任や教科担当は、生徒の学習到達度を正確に把握し、的確なアドバイスをしてくれる。
授業	質的向上	28 教員は、各教科のコース別到達目標に即して、わかりやすい授業の工夫と改善を心がけている。	各教科の先生は、わかりやすい授業の工夫と改善を心がけていると思う。	子どもは、授業がよくわかり、意欲的に取り組んでいるようだ。
	きめ細やかな指導	29 生徒は学習への取り組みや到達度を振り返り、適切なアドバイスを得ている。また宿題・提出物等に対して、適切なフィードバックを得ている。	リフレクシオンシートで学習法や到達度について振り返ることで、自律的に学習に取り組めるようになった。	子どもは、自分の学習法や到達度について振り返り、自律的に学習している。(するようになった。)
	個別最適化	30 各自の目標や到達度に応じて自主的に適切な課題を選んで取り組むという、個別最適化学習の体制が整っている。	授業時間以外に、放課後・昼休み・早朝などに、いろいろな補習・講習・自由参加の学習活動が用意されている。	生徒が各自の目標や到達度に応じて、自主的に適切な課題を選んで取り組む、個別最適化学習の体制が整っている。
	探究活動	31 探究活動が生徒の興味関心・喚起し、【主体的・対話的で深い学び】が成立している。	探究活動はやりがいがあり、自分から社会の課題を解決しようとする姿勢を持つようになった。	子どもは探究活動に意欲的に取り組み、積極的に社会の課題を解決しようとする姿勢を持つようになった。
グローバル教育	グローバル教育	32 グローバル化の時代に対応した本校ならではの教育活動が実施されている。	山手では、グローバル化の時代に対応した授業やその他の教育活動が行われていると感じる。	グローバル化の時代に対応した授業やその他の教育活動が行われていると感じる。
	人権教育	33 生徒一人一人の人格が尊重されるとともに、平和を希求し人権侵害や差別に立ち向かう態度を育むような教育が行われている。	生徒の人格が尊重されていると思う。また、平和の大切さ、人権侵害や差別の問題について学ぶ機会がある。	生徒の人格が尊重されている。また、平和の大切さ、人権侵害や差別の問題について学ぶ機会がある。
SDGsと社会貢献	SDGsと社会貢献	34 SDGsを念頭におき、社会貢献や環境保全活動とともに、日々のごみ分別・資源回収などが実践されている。	SDGsについて理解し、社会の問題について考えるようになった。また、進んで社会貢献や環境保護活動に参加したり、日々のごみ分別などにも取り組んでいる。	子どもは、SDGsを意識するようになり、社会の問題について関心を持ったり、社会貢献や環境保護活動に参加したり、日々のごみ分別などを実践している。
	情報教育	35 情報の発信に伴う責任など、情報モラル面での教育が十分に行われている。	情報の発信に伴う責任や情報モラルについて、十分に学ぶ機会がある。	情報の発信に伴う責任など、情報モラル面での教育に十分に取り組んでいる。
その他	カウンセリング体制	36 不登校の生徒や心の問題を抱える生徒(保護者)に、カウンセラーの支援体制がある。	不登校の生徒や心の問題を抱える生徒、あるいはその保護者に対して、カウンセラーの支援体制がある。	不登校の生徒や心の問題を抱える生徒、あるいはその保護者に対して、カウンセラーの支援体制がある。
	クラブ活動	37 クラブ活動の役割を重視し、より多くの生徒が参加できるように体制が整えられている。	クラブ活動や課外講座に参加している。	クラブ活動に生徒が参加しやすく、活動しやすい体制が整っている。
	生徒会活動	38 生徒会活動が生徒主体で活発に行われ、社会に積極的に参画する意欲が育まれている。	生徒会活動が生徒主体で活発に行われていると思う。	
	読書教育	39 図書館が充実し、朝の読書・読書講演会・ピピリオバトルなど、読書を促すための行事やしくみがある。	図書館が充実し、朝の読書・読書講演会・ピピリオバトルなど、読書を促すための行事やしくみがある。	図書館が充実し、朝の読書・読書講演会・ピピリオバトルなど、読書を促すための行事やしくみがある。
	学校行事	40 それぞれの学校行事が年間指導計画の中に位置づけられ、生徒が積極的に参加できるように工夫されている。	自分は学校行事に積極的に取り組み、楽しんで活動している。	子どもは、学校行事に積極的に取り組み、楽しんで活動している。
	進路指導(高3第2回)	41	卒業後の進路に満足している。	子どもは、卒業後の進路に満足している。

【参考資料③】2023年度 学校評価アンケート結果（全体平均）



【参考資料③】2023年 第2回学校評価アンケート結果（各項目）

	観点	項目	設問	対象	回答数					無回答除く
					A	B	C	D	E無回答	A+B
学校経営	私学の独自性	建学の精神	1 建学の精神と教育ミッションに基づいた、教育目標と方針が、教職員・生徒・保護者によく浸透している。	生徒	87	113	67	11	17	71.9%
				保護者	71	98	71	18	30	65.5%
				教職員	19	19	5	0	0	88.4%
		愛校心	2 在校生・卒業生は「山手ファミリー」の一員として誇りと自覚を持っている。	生徒	88	121	64	29	23	69.2%
	保護者			118	97	37	18	18	79.6%	
	教育課程	学習指導要領	3 教育課程は学習指導要領に沿って作成されている。	生徒	-	-	-	-	-	
				保護者	-	-	-	-	-	
	教育計画	4 年間を通じた教育計画（シラバス）に従って、各教科・科目の授業が展開されている。	生徒	66	116	50	12	51	74.6%	
			保護者	108	103	27	20	30	81.8%	
	開かれた学校	教育活動の公開	5 教育活動について、ホームページ・各種通信・BLEND・ロイノート・ミマホーム等で、可能な範囲の情報公開されている。	生徒	88	121	50	13	23	76.8%
				保護者	160	72	19	17	20	86.6%
				教職員	32	10	1	0	0	97.7%
		財務関係	6 財務諸表等が公開されている。	生徒	-	-	-	-	-	
				保護者	-	-	-	-	-	
	授業公開	7 保護者などに対して、授業や行事が公開されている。	生徒	-	-	-	-	-		
			保護者	115	94	37	19	23	78.9%	
	地域交流	8 地域の清掃やイベントへの参加活動を通して、地域住民との交流ができています。	生徒	-	-	-	-	-		
			保護者	-	-	-	-	-		
			教職員	10	21	9	3	0	72.1%	
	外部講師の活用	9 外部講師による講演や企業との連携授業など、生徒が一般社会で活躍する人に触れて刺激を得る機会が作られている。	生徒	90	112	56	10	27	75.4%	
保護者			86	107	32	26	37	76.9%		
連携	教員間連携	10 教員間の相互理解と信頼関係のもとに、教育活動が展開されている。	生徒	-	-	-	-	-		
			保護者	-	-	-	-	-		
	教職員連携	11 職員会議をはじめ、学年・分掌・教科の会議は、課題検討と有用な情報交換の場として機能している。	生徒	-	-	-	-	-		
			保護者	-	-	-	-	-		
保護者・卒業生連携	12 教員と事務職員の相互理解と信頼関係のもとで、教育活動が展開されている。	生徒	-	-	-	-	-			
		保護者	-	-	-	-	-			
教員研修	校内研修	14 校内研修会や効果的なOJT（On-the-Job Training）が実施され、教職員の資質向上につながっている。	生徒	-	-	-	-	-		
			保護者	-	-	-	-	-		
資質向上	15 研究授業、相互授業参観、模試・考査分析会、外部研修会への参加等によって、教員の資質向上が図られている。	生徒	-	-	-	-	-			
		保護者	-	-	-	-	-			
危機管理	役割分担	16 事故・災害等、非常事態に対処する際の役割分担が明確にされている。	生徒	-	-	-	-	-		
			保護者	-	-	-	-	-		
	講習・訓練	17 健康・安全についての講習、防災訓練等を通じて、生徒・教職員・保護者の防災・安全意識が高められている。	生徒	84	114	54	19	24	73.1%	
			保護者	104	108	23	20	33	83.1%	
パンデミック対策	18 日常の感染予防対策を徹底しながら教育活動が行われ、必要に応じて遠隔による授業・行事が実施されている。	生徒	102	112	51	10	20	77.8%		
		保護者	132	89	18	13	36	87.7%		
個人情報	19 個人情報の管理について、十分な配慮がなされている。	生徒	89	113	46	17	30	76.2%		
		保護者	128	79	20	14	47	85.9%		
設備施設	施設管理	20 施設管理について、日常的に点検・補修が行われ、常に適正に管理されている。	生徒	75	101	62	21	36	68.0%	
			保護者	76	83	22	18	89	79.9%	
				教職員	28	12	2	0	1	95.2%
				教職員	12	22	6	2	1	81.0%

教育活動	生徒指導	学校生活	21	生徒は学校生活を楽しんでいる。	生徒	99	99	58	16	23	72.8%
					保護者	111	97	37	26	17	76.8%
					教職員	21	19	2	0	1	95.2%
		基本的な生活習慣	22	時間厳守・身だしなみ・挨拶・校則の遵守・整理整頓・清掃など、生徒の基本的な生活習慣の確立のための指導が行われている。	生徒	88	123	50	14	20	76.7%
					保護者	79	110	57	29	13	68.7%
					教職員	14	23	3	2	1	88.1%
		面談	23	面談を通して個々の生徒に寄り添い、生徒と教員の信頼関係のもとに課題が共有され、問題があれば迅速に報告されている。	生徒	77	113	58	16	31	72.0%
					保護者	133	79	23	32	21	79.4%
					教職員	30	13	0	0	0	100.0%
		組織的対応	24	問題行動の防止に向け早期指導を行うとともに、生徒指導に組織的に対応する体制がある。	生徒	64	95	72	29	35	61.2%
					保護者	100	95	35	27	31	75.9%
					教職員	25	17	1	0	0	97.7%
	進路指導	意識の向上	25	生徒の適性に応じて個々の興味・関心を引き出し、個性と学年に応じた進路指導・キャリア教育が実施されている。	生徒	75	114	58	8	40	74.1%
					保護者	96	105	34	21	32	78.5%
					教職員	20	20	2	0	1	95.2%
		情報の活用	26	生徒・保護者への説明会、外部講師による講演、大学との交流など、さまざまな進路行事を通して情報提供が行われている。	生徒	70	125	60	9	31	73.9%
					保護者	87	108	48	16	39	75.3%
					教職員	27	15	1	0	0	97.7%
		個別指導	27	生徒の学習到達度を正確に把握し、模試・調査などの客観分析とPDCAを行わせる進路指導が行われている。	生徒	77	115	60	13	30	72.5%
					保護者	106	96	36	20	30	78.3%
				教職員	21	20	1	0	1	97.6%	
授業	質的向上	28	教員は、各教科のコース別到達目標に即して、わかりやすい授業の工夫と改善を心がけている。	生徒	74	116	57	15	33	72.5%	
				保護者	63	111	64	28	22	65.4%	
				教職員	23	19	0	0	1	100.0%	
		きめ細やかな指導	29	生徒は学習への取り組みや到達度を振り返り、適切なアドバイスを得ている。また宿題・提出物等の管理も行き届いている。	生徒	61	104	72	31	27	61.6%
				保護者	71	103	57	42	15	63.7%	
				教職員	19	22	1	0	1	97.6%	
	個別最適化	30	各自の目標や到達度に応じて自主的に適切な課題を選んで取り組むという、個別最適化学習の体制が整っている。	生徒	87	123	48	6	31	79.5%	
				保護者	75	106	53	22	32	70.7%	
				教職員	22	16	4	0	1	90.5%	
	探究活動	31	探究活動が生徒の興味関心を喚起し、主体的対話的な深い学びが成立している。	生徒	55	120	64	22	34	67.0%	
				保護者	62	102	65	28	31	63.8%	
				教職員	21	20	1	1	0	95.3%	
グローバル教育	32	グローバル化の時代に対応した本校ならではの教育活動が実施されている。	生徒	73	119	56	7	40	75.3%		
			保護者	86	108	35	27	32	75.8%		
			教職員	27	16	0	0	0	100.0%		
人権教育	33	生徒の人格が尊重され、平和を希求し人権侵害や差別に立ち向かう態度を育む実践が行われている。	生徒	70	116	58	23	28	69.7%		
			保護者	91	96	35	21	45	77.0%		
			教職員	19	21	2	1	0	93.0%		
SDGsと社会貢献	34	SDGsを念頭におき、社会貢献や環境保全活動とともに、日々のごみ分別・資源回収などが実践されている。	生徒	67	123	63	17	25	70.4%		
			保護者	61	114	62	28	23	66.0%		
			教職員	20	19	3	1	0	90.7%		
情報教育	情報モラ	35	情報の発信に伴う責任など、情報モラル面での教育が十分に行われている。	生徒	65	116	65	13	36	69.9%	
			保護者	79	100	38	18	53	76.2%		
			教職員	17	20	4	1	1	88.1%		
その他	カウンセリング体制	36	不登校の生徒や心的問題を抱える生徒に、カウンセラーの支援体制がある。	生徒	90	114	43	15	33	77.9%	
				保護者	105	91	17	20	55	84.1%	
				教職員	40	3	0	0	0	100.0%	
	クラブ活動	37	クラブ活動の役割を重視し、より多くの生徒が参加できるような体制が整えられている。	生徒	142	58	37	42	16	71.7%	
				保護者	106	73	38	30	41	72.5%	
				教職員	31	9	3	0	0	93.0%	
	生徒会活動	38	生徒会活動が生徒主体で活発に行われ、社会に積極的に参画する意欲が育てられている。	生徒	58	98	62	31	46	62.7%	
			保護者	-	-	-	-	-			
			教職員	18	16	9	0	0	79.1%		
読書教育	39	図書館が充実し、朝の読書・読書講演会・ビブリオバトルなど、読書を促すための行事やしぐみがある。	生徒	91	104	59	13	28	73.0%		
			保護者	97	103	24	23	41	81.0%		
			教職員	26	16	1	0	0	97.7%		
学校行事	40	それぞれの学校行事が年間指導計画の中に位置づけられ、生徒が積極的に参加できるように工夫されている。	生徒	95	110	52	17	21	74.8%		
			保護者	111	97	37	26	17	76.8%		
			教職員	27	15	0	0	1	100.0%		
進路指導	41	卒業後の進路に満足している。	生徒	48	33	3	1	13	95.3%		
			保護者	53	18	1	2	11	95.9%		
			教職員	-	-	-	-	-			